

平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信

平成 20 年 10 月 28 日

上場会社名 横河電機株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 6841 URL <http://www.yokogawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 海堀 周造
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 市瀬 裕介 TEL (0422) 52-5530
 四半期報告書提出予定日 平成 20 年 11 月 11 日 配当支払開始予定日 平成 20 年 12 月 5 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 2 四半期	196,790	—	4,979	—	4,403	—	3,789	—
20 年 3 月期第 2 四半期	204,283	9.6	8,764	△3.3	5,720	△50.0	2,718	△32.6

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21 年 3 月期第 2 四半期	14.71	—
20 年 3 月期第 2 四半期	10.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 3 月期第 2 四半期	430,276	225,395	51.4	857.99
20 年 3 月期	444,644	224,844	49.6	856.72

(参考) 自己資本 21 年 3 月期第 2 四半期 220,999 百万円 20 年 3 月期 220,674 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 3 月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21 年 3 月期	—	8.00	—	—	
21 年 3 月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	424,000	△3.1	18,000	△34.3	16,000	△2.8	5,000	△57.1	19.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 268,624,510株 20年3月期 268,624,510株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 11,045,264株 20年3月期 11,045,061株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 257,579,821株 20年3月期第2四半期 262,884,153株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年8月12日に公表した通期の連結業績予想について本資料において修正しています。
 2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
 3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(参考) 平成21年3月期第2四半期(3か月)の連結業績

(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(3か月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	113,251	△6.2	9,290	1.1	7,934	37.0	5,585	84.1
20年3月期第2四半期	120,800	3.4	9,187	△12.0	5,791	△56.9	3,034	△47.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	21.69	—
20年3月期第2四半期	11.54	—

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

当第2四半期連結会計期間の連結損益計算書と前年同四半期連結会計期間の連結損益計算書では、作成基準が異なるため上記前年比較に関する情報は参考として記載しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）における当社グループの連結売上高は196,790百万円と、前年同期と比較し7,493百万円減少しました。これは主に計測機器事業のうち半導体テストビジネスの売上高が半導体市況の低迷による投資抑制の影響を受け減少したことによるものです。

また、営業利益につきましては4,979百万円と、前年同期と比較して3,784百万円減少しました。これは主に、計測機器事業の売上高の減少及び為替が円高に推移したことにより売上総利益が減少したこと等によるものです。経常利益につきましては4,403百万円と、前年同期と比較して1,316百万円減少しました。経常利益の減少額が営業利益の減少額と比較し少なくなっているのは、主に為替差損が前年同期と比較し減少したこと等によるものです。

四半期純利益は3,789百万円と前年同期と比較して1,070百万円増加しました。これは、繰延税金資産を計上した結果、法人税等調整額が減少したことによるものです。

なお、第2四半期会計期間（平成20年7月1日～平成20年9月30日）における当社グループの連結経営成績は、売上高113,251百万円、営業利益9,290百万円、経常利益7,934百万円、四半期純利益5,585百万円となっています。

事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりです。

制御事業

制御事業は、国内においては原材料・原油価格の高騰や輸出の減速から企業の設備投資が抑制され低調に推移しましたが、海外では新興国の旺盛なエネルギー需要を背景に、引き続き石油・石油化学・天然ガス・電力などのプラント建設への投資が活発に行われ堅調に推移しました。

この結果、第2四半期累計期間の売上高は156,087百万円（前年同期比4,638百万円増）、営業利益は16,498百万円（前年同期比39百万円減）となりました。前年同期と比較し増収減益となったのは、為替が円高に推移したこと及び国内制御事業の受注済み案件で追加コストが見込まれるものについて引当金の計上を行ったこと等によるものです。

なお、第2四半期会計期間の同事業の売上高は90,291百万円、営業利益は14,599百万円となっています。

計測機器事業

計測機器事業の主要分野である半導体テストビジネスは、DRAM及びフラットパネルディスプレイ（FPD）ドライバーICメーカーの大幅な投資抑制の影響により、低調に推移しました。また、測定器ビジネスも国内景気減速の影響を受け市況が悪化しました。

この結果、第2四半期累計期間の売上高は21,027百万円（前年同期比10,800百万円減）、営業損失は5,549百万円（前年同期比3,188百万円増）となりました。なお、第2四半期会計期間の同事業の売上高は10,910百万円、営業損失は1,990百万円となっています。

新事業その他

新事業その他では、フォトリソグラフィビジネスにおいて、次世代ネットワーク向け40Gbps基幹系光通信サブシステムの大型受注を獲得するなど好調に推移しましたが、アドバンスドステージビジネスにおいては、半導体製造装置市場の低迷を受け低調に推移しました。

この結果、第2四半期累計期間の売上高は19,676百万円（前年同期比1,331百万円減）、営業損失は5,970百万円（前年同期比557百万円増）となりました。なお、第2四半期会計期間の同事業の売上高は12,050百万円、営業損失は3,319百万円となっています。

なお、本文中における前年同期との比較は、平成20年3月期中間決算短信に記載の連結経営成績との対比を行っています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

第2四半期末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において、以下のとおりとなりました。

第2四半期末の総資産は4,302億円となり、前年度末に比べ143億円減少しました。たな卸資産が51億円、無形固定資産が48億円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が241億円減少したことが主な要因です。負債合計は2,048億円となり、前年度末に比べ149億円減少しました。支払手形及び買掛金が55億円、賞与引当金が43億円、コマーシャルペーパーの残高減少等によりその他流動負債が26億円それぞれ減少したことが主な要因です。純資産は2,253億円となり、前年度末に比べ5億円増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の残高は、営業活動による208億円の収入、投資活動による139億円の支出、財務活動による77億円の支出などの結果、第2四半期末には291億円となり、前連結会計年度末に比べ10億円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益23億円から、減価償却費103億円、売上債権の減少253億円のプラス要因と、賞与引当金の減少44億円、たな卸資産の増加60億円、仕入債務の減少52億円、未払金の減少21億円等のマイナス要因の調整の結果、前年同期に比べ126億円増加し、208億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による79億円、無形固定資産の取得による69億円の支出等の結果139億円の支出となり、前年同期に比べ135億円支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払20億円、コマーシャルペーパー60億円の減少等により、77億円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年8月12日の業績予想を以下のとおり変更しました。

制御事業につきましては、国内市場の減速に加え、世界的金融危機による経済成長率の鈍化の影響が懸念されるものの、現時点で受注済みの案件で中止・延期等の顕著な影響は出ていません。しかしながら、対ユーロでの円高が年初の想定以上に進行していることから、同事業全体の売上高予想を50億円、営業利益予想を10億円それぞれ下方修正しました。一方、計測機器事業につきましては、半導体テストビジネスの市況の回復が来年度以降にずれ込むことが予想されること及び測定器ビジネスも国内景気減速の影響を受け低調に推移する見通しであることから、同事業の売上高予想を170億円、営業利益予想を55億円それぞれ下方修正しました。新事業その他につきましては、売上高、営業利益予想に変更はありません。

これらの結果、連結業績予想の売上高を220億円、営業利益を65億円、経常利益を50億円、当期純利益を60億円それぞれ下方修正しました。

なお、平成20年8月12日の第1四半期決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(単位：百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	446,000	24,500	21,000	11,000	42.70
今回発表予想(B)	424,000	18,000	16,000	5,000	19.41
増減額(B-A)	△22,000	△6,500	△5,000	△6,000	△23.29
増減率(%)	△4.9%	△26.5%	△23.8%	△54.5%	△54.5%
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	437,448	27,412	16,453	11,667	44.76

注) 連結業績見通しの為替レートは、1米ドル=100円、*1ユーロ=125円を前提としています。

(*第1四半期の連結業績見通し時(8月12日)の1ユーロ=155円から1ユーロ=125円に変更しています。)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法を採用しています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっています。

②四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しています。

この変更による、当第2四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微です。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

この変更による、当第2四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微です。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き適用しています。

この適用による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,088	31,738
受取手形及び売掛金	118,773	142,902
有価証券	284	301
商品及び製品	21,955	18,856
仕掛品	13,903	11,794
原材料及び貯蔵品	14,108	14,164
その他	25,527	25,864
貸倒引当金	△2,881	△3,256
流動資産合計	221,759	242,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,031	51,132
その他(純額)	55,759	60,410
有形固定資産合計	110,791	111,543
無形固定資産	26,847	22,036
投資その他の資産		
投資有価証券	40,609	40,266
その他	30,969	29,070
貸倒引当金	△701	△639
投資その他の資産合計	70,877	68,697
固定資産合計	208,516	202,277
資産合計	430,276	444,644
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,463	40,034
短期借入金	19,850	18,979
未払法人税等	2,123	2,604
賞与引当金	10,114	14,511
未払金	16,847	19,137
その他	47,480	50,103
流動負債合計	130,880	145,370
固定負債		
長期借入金	55,769	55,993
退職給付引当金	5,185	5,221
長期未払金	11,655	11,832
その他	1,389	1,381
固定負債合計	73,999	74,429
負債合計	204,880	219,799

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,401	43,401
資本剰余金	50,352	50,355
利益剰余金	141,741	139,952
自己株式	△10,989	△10,990
株主資本合計	224,505	222,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,322	2,991
繰延ヘッジ損益	4	1
為替換算調整勘定	△6,832	△5,036
評価・換算差額等合計	△3,505	△2,044
少数株主持分	4,396	4,170
純資産合計	225,395	224,844
負債純資産合計	430,276	444,644

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	196,790
売上原価	129,263
売上総利益	67,527
販売費及び一般管理費	62,547
営業利益	4,979
営業外収益	
受取利息	90
受取配当金	459
持分法による投資利益	406
その他	368
営業外収益合計	1,325
営業外費用	
支払利息	743
為替差損	93
その他	1,064
営業外費用合計	1,902
経常利益	4,403
特別利益	
固定資産売却益	21
投資有価証券売却益	1,335
その他	25
特別利益合計	1,382
特別損失	
固定資産売却損	14
固定資産除却損	265
減損損失	460
投資有価証券評価損	1,667
その他	1,075
特別損失合計	3,482
税金等調整前四半期純利益	2,303
法人税、住民税及び事業税	2,159
法人税等調整額	△4,117
法人税等合計	△1,958
少数株主利益	472
四半期純利益	3,789

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
売上高	113,251
売上原価	73,158
売上総利益	40,093
販売費及び一般管理費	30,802
営業利益	9,290
営業外収益	
受取利息	37
受取配当金	110
持分法による投資利益	219
その他	207
営業外収益合計	575
営業外費用	
支払利息	370
為替差損	993
その他	567
営業外費用合計	1,931
経常利益	7,934
特別利益	
固定資産売却益	11
投資有価証券売却益	1,325
その他	19
特別利益合計	1,356
特別損失	
固定資産売却損	7
固定資産除却損	137
減損損失	460
投資有価証券評価損	1,477
その他	418
特別損失合計	2,501
税金等調整前四半期純利益	6,789
法人税、住民税及び事業税	1,163
法人税等調整額	△195
法人税等合計	968
少数株主利益	234
四半期純利益	5,585

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,303
減価償却費	10,310
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△262
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,441
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,335
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,667
売上債権の増減額 (△は増加)	25,337
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,086
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,289
未払金の増減額 (△は減少)	△2,102
その他	2,416
小計	22,517
利息及び配当金の受取額	1,642
利息の支払額	△722
法人税等の支払額	△2,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,106
定期預金の払戻による収入	2,507
有形固定資産の取得による支出	△7,986
有形固定資産の売却による収入	70
無形固定資産の取得による支出	△6,984
投資有価証券の取得による支出	△2,470
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,307
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△775
事業譲渡による収入	1,011
その他	503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	913
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△6,000
配当金の支払額	△2,057
その他	△602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,036
現金及び現金同等物の期首残高	30,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,172

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

事業		期	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
			金額(百万円)	百分比 (%)
制御事業	売上高		90,296	
	外部顧客に対する売上高		90,291	79.7
	セグメント間の内部売上高		5	
	営業費用		75,696	
	営業利益		14,599	157.1
計測機器事業	売上高		10,910	
	外部顧客に対する売上高		10,910	9.6
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		12,900	
	営業損失		△1,990	△21.4
新事業その他	売上高		12,050	
	外部顧客に対する売上高		12,050	10.7
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		15,369	
	営業損失		△3,319	△35.7
消去又は全社	売上高		(5)	
	外部顧客に対する売上高		—	
	セグメント間の内部売上高		(5)	
	営業費用		(5)	
	営業利益		—	
連結	売上高		113,251	
	外部顧客に対する売上高		113,251	100.0
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		103,960	
	営業利益		9,290	100.0

b. 所在地別セグメント情報

所在地		期	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
			金額 (百万円)	百分比 (%)
日本	売上高		74,996	
	外部顧客に対する売上高		57,575	50.8
	セグメント間の内部売上高		17,420	
	営業費用		70,251	
	営業利益		4,744	51.2
アジア	売上高		31,021	
	外部顧客に対する売上高		23,075	20.4
	セグメント間の内部売上高		7,946	
	営業費用		28,627	
	営業利益		2,394	25.8
欧州	売上高		13,627	
	外部顧客に対する売上高		11,726	10.3
	セグメント間の内部売上高		1,901	
	営業費用		12,916	
	営業利益		711	7.7
北米	売上高		8,861	
	外部顧客に対する売上高		8,581	7.6
	セグメント間の内部売上高		279	
	営業費用		8,635	
	営業利益		225	2.5
その他	売上高		12,483	
	外部顧客に対する売上高		12,292	10.9
	セグメント間の内部売上高		191	
	営業費用		11,297	
	営業利益		1,186	12.8
消去又は全社	売上高		(27,739)	
	外部顧客に対する売上高		—	
	セグメント間の内部売上高		(27,739)	
	営業費用		(27,767)	
	営業利益		28	0.0
連結	売上高		113,251	
	外部顧客に対する売上高		113,251	100.0
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		103,960	
	営業利益		9,290	100.0

所在地		期	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
			金額(百万円)	百分比 (%)
日本	売上高		122,926	
	外部顧客に対する売上高		93,244	47.4
	セグメント間の内部売上高		29,681	
	営業費用		125,873	
	営業損失		△2,946	△59.1
アジア	売上高		55,668	
	外部顧客に対する売上高		41,792	21.2
	セグメント間の内部売上高		13,875	
	営業費用		51,700	
	営業利益		3,968	79.7
欧州	売上高		27,117	
	外部顧客に対する売上高		23,858	12.1
	セグメント間の内部売上高		3,259	
	営業費用		25,754	
	営業利益		1,362	27.4
北米	売上高		16,662	
	外部顧客に対する売上高		16,070	8.2
	セグメント間の内部売上高		591	
	営業費用		16,317	
	営業利益		345	6.9
その他	売上高		22,313	
	外部顧客に対する売上高		21,824	11.1
	セグメント間の内部売上高		488	
	営業費用		20,189	
	営業利益		2,123	42.6
消去又は全社	売上高		(47,897)	
	外部顧客に対する売上高		—	
	セグメント間の内部売上高		(47,897)	
	営業費用		(48,023)	
	営業利益		126	2.5
連結	売上高		196,790	
	外部顧客に対する売上高		196,790	100.0
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		191,810	
	営業利益		4,979	100.0

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
(1) アジア シンガポール、中国、韓国等
(2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
(3) 北米 米国、カナダ
(4) その他 ブラジル、オーストラリア、中東等

c. 海外売上高

所在地	期	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)
アジア		23,454	20.7
欧州		10,951	9.7
北米		8,597	7.6
その他		17,216	15.2
海外売上高合計		60,219	53.2
連結売上高		113,251	—

所在地	期	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)
アジア		45,972	23.4
欧州		20,429	10.4
北米		15,653	7.9
その他		31,801	16.2
海外売上高合計		113,856	57.9
連結売上高		196,790	—

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
 (1) アジア シンガポール、中国、韓国等
 (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
 (3) 北米 米国、カナダ
 (4) その他 ブラジル、オーストラリア、中東等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額 (百万円)		百分比 (%)
I 売上高		204,283	100.0
II 売上原価		129,549	63.4
売上総利益		74,733	36.6
III 販売費及び一般管理費		65,969	32.3
営業利益		8,764	4.3
IV 営業外収益			
1. 受取利息	160		
2. 受取配当金	349		
3. 持分法による投資利益	623		
4. その他	479	1,612	0.8
V 営業外費用			
1. 支払利息	584		
2. たな卸資産処分損	466		
3. たな卸資産評価損	1,018		
4. 為替差損	1,014		
5. その他	1,573	4,657	2.3
経常利益		5,720	2.8

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額 (百万円)		
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	48		
2. 投資有価証券売却益	71		
3. 国庫補助金	1,007		
4. 退職給付引当金戻入益	142		
5. その他	84	1,353	0.7
VII 特別損失			
1. 固定資産売却損	10		
2. 固定資産除却損	201		
3. 減損損失	703		
4. 投資有価証券評価損	58		
5. 過年度賞与引当金繰入額	262		
6. その他	805	2,041	1.0
税金等調整前中間純利益		5,032	2.5
法人税、住民税及び事業税	2,399		
法人税等還付金	10		
法人税等調整額	△430	1,958	1.0
少数株主利益		354	0.2
中間純利益		2,718	1.3

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	5,032
減価償却費	10,888
減損損失	703
貸倒引当金の増加額	1,339
退職給付引当金の減少額	△517
賞与引当金の減少額	△3,616
投資有価証券評価損	58
受取利息及び受取配当金	△510
支払利息	584
持分法による投資利益	△623
投資有価証券売却益	△71
固定資産除却損	201
売上債権の減少額	7,184
たな卸資産の増加額	△3,099
仕入債務の減少額	△5,750
退職給付制度変更による未払金減少額	△263
その他	△893
小計	10,645
利息及び配当金の受取額	1,423
利息の支払額	△600
法人税等の支払及び還付額	△3,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,166

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,544
定期預金の払戻による収入	1,557
有形固定資産の取得による支出	△18,613
有形固定資産の売却による収入	664
無形固定資産の取得による支出	△4,710
投資有価証券の取得による支出	△6,323
投資有価証券の売却・償還による収入	2,202
その他	△666
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,434
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△10,260
コマーシャルペーパーの純増加額	5,000
長期借入による収入	25,504
長期借入金の返済による支出	△9
社債の償還による支出	△10,000
配当金の支払額	△1,969
自己株式の取得による支出	△11
少数株主への配当金の支払額	△258
その他	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,996
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
V 現金及び現金同等物の減少額	△11,272
VI 現金及び現金同等物の期首残高	38,178
VII 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加高	138
VIII 現金及び現金同等物の中間期末残高	27,044

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

事業	期	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		対前年 同期比 増減 (百万円)
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
制御事業	売上高	151,511		156,103		4,592
	外部顧客に対する売上高	151,449	74.1	156,087	79.3	4,638
	セグメント間の内部売上高	62		16		△46
	営業費用	134,973		139,604		4,631
	営業利益	16,538	188.7	16,498	331.3	△39
計測機器事業	売上高	31,827		21,027		△10,800
	外部顧客に対する売上高	31,827	15.6	21,027	10.7	△10,800
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	34,188		26,576		△7,611
	営業損失	△2,361	△26.9	△5,549	△111.4	△3,188
新事業その他	売上高	21,007		19,676		△1,331
	外部顧客に対する売上高	21,007	10.3	19,676	10.0	△1,331
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	26,420		25,646		△774
	営業損失	△5,413	△61.8	△5,970	△119.9	△557
消去又は全社	売上高	(62)		(16)		
	外部顧客に対する売上高	—		—		
	セグメント間の内部売上高	(62)		(16)		
	営業費用	(62)		(16)		
	営業利益	—		—		
連結	売上高	204,283		196,790		△7,493
	外部顧客に対する売上高	204,283	100.0	196,790	100.0	△7,493
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	195,519		191,810		△3,708
	営業利益	8,764	100.0	4,979	100.0	△3,784

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の系列、市場の類似性及び当社グループの損益集計区分を考慮し行っています。

2. これら事業区分に属する主要製品は次のとおりです。

事業区分	主要製品
制御事業	生産制御システム、流量計、差圧・圧力伝送器、プロセス分析計、プログラマブルコントローラ等
計測機器事業	半導体テストシステム、波形測定器、光通信関連測定器、信号発生器、電力・温度・圧力測定器等
新事業その他	光通信モジュール及びサブシステム、XYステージ、共焦点スキャナ、航空機用計器、航海関連機器、気象・水文観測機器等

b. 所在地別セグメント情報

所在地		前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		対前年 同期比
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	増減 (百万円)
日本	売上高	138,576		122,926		△15,649
	外部顧客に対する売上高	108,305	53.0	93,244	47.4	△15,060
	セグメント間の内部売上高	30,270		29,681		△589
	営業費用	137,041		125,873		△11,168
	営業利益又は営業損失	1,534	17.5	△2,946	△59.1	△4,480
アジア	売上高	55,225		55,668		442
	外部顧客に対する売上高	41,954	20.5	41,792	21.2	△162
	セグメント間の内部売上高	13,270		13,875		605
	営業費用	51,625		51,700		75
	営業利益	3,600	41.1	3,968	79.7	367
欧州	売上高	24,386		27,117		2,731
	外部顧客に対する売上高	21,721	10.6	23,858	12.1	2,136
	セグメント間の内部売上高	2,664		3,259		594
	営業費用	22,110		25,754		3,644
	営業利益	2,275	26.0	1,362	27.4	△913
北米	売上高	15,648		16,662		1,014
	外部顧客に対する売上高	15,240	7.5	16,070	8.2	829
	セグメント間の内部売上高	407		591		184
	営業費用	15,325		16,317		992
	営業利益	323	3.7	345	6.9	22
その他	売上高	17,514		22,313		4,799
	外部顧客に対する売上高	17,060	8.4	21,824	11.1	4,763
	セグメント間の内部売上高	453		488		35
	営業費用	15,865		20,189		4,324
	営業利益	1,648	18.8	2,123	42.6	474
消去又は 全社	売上高	(47,066)		(47,897)		
	外部顧客に対する売上高	—		—		
	セグメント間の内部売上高	(47,066)		(47,897)		
	営業費用	(46,448)		(48,023)		
	営業利益	(618)	(7.1)	126	2.5	
連結	売上高	204,283		196,790		△7,493
	外部顧客に対する売上高	204,283	100.0	196,790	100.0	△7,493
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	195,519		191,810		△3,708
	営業利益	8,764	100.0	4,979	100.0	△3,784

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
 (1) アジア シンガポール、中国、韓国等
 (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
 (3) 北米 米国、カナダ
 (4) その他 ブラジル、オーストラリア、中東等

c. 海外売上高

所在地 期	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		対前年 同期比
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減金額 (百万円)
アジア	51,817	25.4	45,972	23.4	△5,845
欧州	24,966	12.2	20,429	10.4	△4,537
北米	14,560	7.1	15,653	7.9	1,092
その他	22,460	11.0	31,801	16.2	9,340
海外売上高合計	113,805	55.7	113,856	57.9	50
連結売上高	204,283	—	196,790	—	△7,493

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
 (1) アジア シンガポール、中国、韓国等
 (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
 (3) 北米 米国、カナダ
 (4) その他 ブラジル、オーストラリア、中東等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

平成20年10月28日
横河電機株式会社

平成21年3月期 第2四半期連結決算情報

(単位:百万円)

	H19/9		H20/9		前年同期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	204,283	-	196,790	-	△7,493	-
営業利益	8,764	4.3%	4,979	2.5%	△3,784	△1.8%
経常利益	5,720	2.8%	4,403	2.2%	△1,316	△0.6%
当期純利益	2,718	1.3%	3,789	1.9%	1,070	0.6%
総資産	440,222		430,276		△9,946	
純資産	238,012		225,395		△12,617	
自己資本当期純利益率	1.2%		1.7%		0.5%	
1株当たり当期純利益	10.34円		14.71円		4.37円	
1株当たり純資産	887.81円		857.99円		△29.82円	
設備投資	21,946		15,218		△6,728	
減価償却費	10,888		10,310		△578	
研究開発費	20,195		19,295		△900	
期中平均為替レート						
米ドル	119.20円		106.23円		△12.97円	
ユーロ	162.83円		162.12円		△0.71円	

事業の種類別セグメント 受注高

(単位:百万円)

	H19/9	H20/9	H21/3 予想
制御事業	179,361	174,679	355,000
計測機器事業	30,916	20,675	45,000
新事業その他	18,215	20,309	47,000
合計	228,492	215,663	447,000

事業の種類別セグメント 売上高

(単位:百万円)

	H19/9	H20/9	H21/3 予想
制御事業	151,449	156,087	335,000
計測機器事業	31,827	21,027	45,000
新事業その他	21,007	19,676	44,000
合計	204,283	196,790	424,000

事業の種類別セグメント 営業利益

(単位:百万円)

	H19/9	H20/9	H21/3 予想
制御事業	16,538	16,498	39,000
計測機器事業	△2,361	△5,549	△11,500
新事業その他	△5,413	△5,970	△9,500
合計	8,764	4,979	18,000